

平成 28 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 プ イ キ ュ ー ブ  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 間 下 直 晃  
 (コード番号：3681 東証第一部)  
 問 合 せ 先 取 締 役 C F O 大 川 成 儀  
 (TEL. 03-5768-3111)

## 業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 11 月 13 日公表の平成 27 年 12 月期の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

### 1. 平成 27 年 12 月期連結業績予想値と実績値の差異 (平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	6,200	300	180	13	0 円 69 銭
今回実績(B)	6,083	348	179	93	5 円 01 銭
増減額(B-A)	△116	48	△0	80	
増減率(%)	△1.9	16.0	△0.2	621.2	
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 12 月期)	4,681	403	594	261	14 円 33 銭

(注) 前回発表予想及び今回実績の 1 株当たり当期純利益は、平成 28 年 1 月 1 日付の 1 株につき 2 株の割合で実施した株式分割が平成 27 年 12 月期の期首に行われたと仮定して算出しております。また、前期実績の 1 株当たり当期純利益は、平成 27 年 1 月 1 日付の 1 株につき 2 株の割合で実施した株式分割及び平成 28 年 1 月 1 日付の 1 株につき 2 株の割合で実施した株式分割が平成 26 年 12 月期の期首に行われたと仮定して算出したものです。

### 2. 差異が生じた理由

売上高は、利益率の高い主力のクラウド型サービスの売上高が計画を上回りましたが、オンプレミス型サービス及びアプライアンスの売上高が計画を下回り、前回発表予想をやや下回りました。

営業利益は、売上高の減少の影響はあったものの、アプライアンス及びオンプレミス型サービスの売上高の減少に伴う仕入減、保守的に見込んでいた経費等の販売費及び一般管理費の減少により、前回発表予想をやや上回りました。

経常利益は、営業利益の増加はあったものの、主にシンガポールドル/円の為替相場が期末にかけて円高に推移したことにより、当社連結海外子会社への貸付金に対する為替評価替に伴う為替差損が増加したため、ほぼ前回発表予想の通りとなりました。

当期純利益は、国内子会社にて繰延税金資産を計上したことに伴い税金費用が減少したこと等により、前回発表予想を大きく上回りました。

以 上